

# 剣道競技実施要項

1. 主催 都城工業高等専門学校  
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 期 日 令和4年7月10日（日）
3. 会 場 三股町武道体育館
4. チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、男子選手7名以内、女子選手5名以内とする。
5. 競技規則 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」及び「同細則」に準ずる。
- 6 競技方法
  - (1) 団体戦の部
    - ア 男子の部
      - (ア) 予選リーグは、10校（各校5名）を3パートに分けてリーグ・リンク戦を行う。組み合わせは、監督会議で決定する。
      - (イ) 決勝トーナメントは、各パートの勝者校（4校）によって行い、4校については以下のように選抜する。  
出場校数が10校の場合には、3校のリーグ戦のパートからそれぞれ1位の2校と、4校のリンク戦のパートから1位と2位の2校で計4校とする。出場校数が9校の場合には、リーグ戦の各パートのそれぞれ1位の3校と、各パート2位のうち勝率が最も高い学校1校で計4校とする。
      - (ウ) 試合時間は、4分3本勝負とし、時間内に勝負が決しない場合は、引き分けとする。
      - (エ) 勝負は勝者数法による。勝者同数の場合は、総本数による。総本数も同数の場合は引き分けとする。
      - (オ) ① 順位は勝率による。同率の場合は勝者数の多い方を勝ちとする。  
② 勝者数も同数の場合は、総本数の多い方を勝ちとする。  
③ 総本数も同数の場合は、代表戦を行い、4分3本勝負とし、勝負が決しない場合は2分間の延長戦を勝負が決するまで繰り返す（代表戦は、7名の選手の中から選出して行う）。
      - (カ) 人員不足の場合は、各校最低でも3名の選手を登録することとする（3名の場合は先鋒・中堅・大将、4名の場合は先鋒・中堅・副将・大将の位置に入れること）。
    - イ 女子の部
      - (ア) 出場校をパートに分けてリーグ・リンク戦を行う。パート数および組み合わせは、監督会議で決定する。
      - (イ) 試合時間は、原則4分3本勝負とし、時間内に勝負が決しない場合は、引き分けとする。  
ただし試合時間等は、必要に応じて監督会議で審議の上、変更も可とする。
      - (ウ) 勝負は勝者数法による。勝者同数の場合は、総本数による。総本数も同数の場合は引き分けとする。
      - (エ) ① 順位は勝率による。同率の場合は勝者数の多い方を勝ちとする。  
② 勝者数も同数の場合は、総本数の多い方を勝ちとする。  
③ 総本数も同数の場合は、代表戦を行い、4分3本勝負とし、勝負が決しない場合は2分間の延長戦を勝負が決するまで繰り返す（代表戦は、5名の選手の中から選出して行う）。
      - (オ) 人員不足の場合は、各校最低でも2名の選手を登録することとする（その場合は先鋒・大将の位置に入れること）。

(2) 個人戦の部

ア 男子の部

- (ア) 出場は登録された7名の選手に限る。
- (イ) 1校3名以内の出場選手によるトーナメント戦とする。
- (ウ) 試合時間は4分3本勝負とし、時間内に勝負が決しない場合は2分間の延長戦を2回まで行う。それでも勝負が決しない場合は判定で勝敗を決する。

イ 女子の部

- (ア) 出場は登録された5名の選手に限る。
- (イ) 1校2名以内の出場選手によるトーナメント戦とする。
- (ウ) 試合時間は4分3本勝負とし、時間内に勝負が決しない場合は2分間の延長戦を2回まで行う。それでも勝負が決しない場合は判定で勝敗を決する。

ウ 組合せは男子の部・女子の部とも監督会議で決定する。

7 注意事項・その他

- (1) 武道精神にのっとり、試合場での声援は禁止する。
- (2) 本大会で使用できる竹刀の規格は、高校生及び大学生・一般の基準に従い、重量及び太さについては以下のとおりとする。竹刀の計量は、当日開会式前に会場で行う。

	男 子				女 子			
	長 さ	重 さ	先端部太さ	ちくとう太さ	長 さ	重 さ	先端部太さ	ちくとう太さ
1～3年生	117cm 以下	480g 以上	26mm 以上	21mm 以上	117cm 以下	420g 以上	25mm 以上	20mm 以上
4・5年生	120cm 以下	510g 以上	26mm 以上	21mm 以上	120cm 以下	440g 以上	25mm 以上	20mm 以上

- (3) サポーター等の使用は、医療上必要と認める場合に限り、見苦しくなく、相手に危害を加えない範囲においてこれを認める。
- (4) オーダー用紙の提出は、試合開始10分前とし、オーダーは登録された選手（男子7名、女子5名）内で試合ごとに組替えてもよい。ただし、定められた時刻までに提出されなかった場合は、直前の試合のオーダーで試合を行うものとする。
- (5) 個人戦・団体戦のいずれにおいても、監督・コーチ以外の者が選手席入りする場合は、事前申請による許可を必要とする。
- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。
- (7) 別紙「第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会剣道競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。  
また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

## 第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会剣道競技における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のとおり留意すること。

- ア 次の場合は出場及び参加を控えること。
  - （ア）体調がすぐれない場合（発熱・咳・咽頭痛・倦怠感などの症状がある場合）。
  - （イ）同居している家族や身近な知人に新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合。または健康観察の対象となっている場合。
  - （ウ）過去14日以内に、政府による入国制限の対象となっている国・地域等または入国後の健康観察期間が必要とされている国・地域等への渡航を行った場合。
- イ 会場内ではマスクを着用すること。
- ウ 手洗い、アルコール等による手指消毒をこまめに実施すること。
- エ 試合中、選手は面マスク及びシールドを着用すること。審判はマスクを着用すること。ただし、こまめに水分を補給するなどして、熱中症の予防には十分に注意すること。
- オ 更衣室はできるだけ開放して換気を行い、交代で着替えをするなどして密閉・密集・密接を避けること。
- カ 感染防止のために主催者が定めたその他の措置を遵守すること。
- キ 試合出場後・大会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかにその旨と濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ク 試合出場校は、「選手・監督の健康確認リスト」を、監督会議の際に本部に提出すること。「応援参加者の健康確認リスト」は、試合終了後に本部に提出すること。

※注 今後の知見の集積や各地域の感染状況を踏まえ、本ガイドラインは修正される場合がある。